

第17回医療関係団体新年互礼会

と き 令和6年1月6日(土) 17:00～19:00

ところ ホテルニュータナカ2階「平安の間」

[報告：常任理事 長谷川奈津江]

2024年1月6日(土)、第17回医療関係団体新年互礼会が湯田温泉のホテルニュータナカで開催された。

開会に先立ち、1月1日に発生した令和6年能登半島地震の犠牲者に対し、黙祷が捧げられた。その後、小山茂幸 県歯科医師会長が開会の辞を述べられ、「挨拶は噛まずに、食事はよく噛んで」と歯科医師ならではのユーモアを交えた挨拶が印象的であった。

その後、15名の医療関係団体の代表が壇上に並び、加藤智栄 県医師会長が年頭の挨拶をされた。加藤会長は診療報酬改定や本年4月から始まる医師の働き方改革について触れられた後、医療を通じた日本の安全と経済の発展を祈念され、挨拶を締めくくられた。

引き続き、新春のお言葉を村岡嗣政 県知事、松本吉郎 日本医師会長、高橋英登 日本歯科医師会長、山本信夫 日本薬剤師会長、高橋弘枝 日本看護協会会長、上田克彦 日本診療放射線技師会長からいただいた。松本日医会長は、今年発行される新紙幣について、初代日医会長である北里柴三郎の肖像画について触れられていた。

来賓のご挨拶を、高村正大 衆議院議員、林 芳正

官房長官の林 裕子 令夫人、岸 信千代 衆議院議員、吉田真次 衆議院議員、江島 潔 参議院議員、北村経夫 参議院議員、羽生田 俊 参議院議員からいただき、自見はなこ 参議院議員からはビデオメッセージをいただいた。

次に、山口県議会議員の方々が登壇され、代表として柳居俊学 議長からご挨拶があり、引き続き県内の市長及び町長の方々が登壇され、代表して藤田剛二 山陽小野田市長よりお祝いの言葉をいただいた。なお、今回は宇部市、山口市、萩市、防府市、長門市、美祢市、周南市、山陽小野田市、周防大島町、上関町、平生町、阿武町の首長が参加された。

岡 正朗 山口県立大学理事長の賀詞交歓のご挨拶の後、しばし歓談となった。

谷澤幸生 山口大学学長の中締めの後、吉田力久 県薬剤師会長の閉会の辞をもって、2024年の新年互礼会は幕を閉じた。

会を通して、挨拶された皆様が1月1日の令和6年能登半島地震、2日の航空機事故に対する哀悼の意を表された。昨年と変わらぬ日常生活を送れることに感謝し、被災地への支援を続けていこうと思う年明けであった。

